

## これまでの地域協議会における主な意見

### 1 新しい学校の教育について

将来を担う人間づくり，地域社会を担う教育を展開することが大切である。

専門知識や勤勉さ，忍耐強さ，明るさ，素直さを身につけた，素晴らしい人材が育つ新しい学校にする必要がある。

三好地域の子どもは三好の高校で教育すべきであるということを前提として協議すべきである。

これまでの辻高校，三好高校のしっかりした土台をふまえ，新しい学校の教育を考えるべきである。

あらゆる学力層の生徒に十分対応できる学校づくりを含め，他の地域からも集まってくる「魅力ある学校づくり」が大切である。

少ない生徒数では競争もできない。1学年が1クラスしかない小規模校にはすべきではない。

少人数で充実した教育が展開できる学校づくりを考える必要がある。

普通科一辺倒の発想ではなく，高校卒業後に就職する生徒も多くいることから，地域を支えていく人材を育てることが必要である。

農林業の人材を育成する体制をしっかりと考えなければならない。「今，人気がないから」と安易に流れるべきではない。

食料自給率や食の安全・安心など農業に関する様々な課題がある中で，いかに地域に根ざし，地域を支える人材育成ができるかが新しい学校では重要である。

### 2 新しい学校の教育内容について

#### (1) 設置学科・コースについて

現在の辻高校のコース制，三好高校の学科制を十分活かした方向で考えていく必要がある。

普通科の総合文理，健康福祉，情報ビジネスの各コースには明確な目標がある。特に，三好高校商業科を引き継ぐ情報ビジネスには専門性がある。

普通科教養実践コースは、社会で必要とされる実践的な教養を身につけることを目標としているため、将来の進路が決まっていない中学生が進学するにはよい。

県下に林業関係を専門とする学校は三好高校のみであり、森林環境科が新しい学校のポイントである。林業関係の進学体制をしっかりと作ってほしい。

現在、三好高校では卒業生の多くが就職している。新しい高校の農業科でも就職を考えたカリキュラムが必要である。

総合学科は生徒の希望によって科目選択できるが、三好地域に必要な教育が継承されないことも考えられる。

地元には看護科設置を要望する意見はあるが、今の状況からすれば、新しい学校づくりの中で看護科を設置することは難しい。

地域の中学生が進路を決める際、新高校が普通科・コース制と農業科・学科制とすることで、選択肢が多くなるのはよい。

新高校に6つの学科・コースを設置するのは、将来の生徒数から考えれば多いのではないか。

資格を考えて、学科やコースの設置を検討すべきである。

介護福祉士などの資格取得が目指せるなど、子どもたちが自信を持って通える学校にすべきである。

現在、高卒後すぐに介護の仕事に入るのは厳しい。高校で福祉に関する意識を持たせ、専門学校へ進んで、そこで介護の仕事をやろうと意欲を持った人が就職すればよいのではないか。

## (2) 総合選択制について

普通科と農業科を統合したスケールメリットを活かすには、普通科においても農業が学べる総合選択制がよい。

農業科でも企業的な農業をやりたいという生徒がいれば、商業的なことを学ぶ必要もある。大学科の枠を越えた総合選択制を考える必要がある。

農業教育では、1年生からの専門教育の積み上げが大切であるので、総合選択制は農業科の枠内で実施するのがよい。

### 3 その他

現段階で妥当な計画を策定しても、今後の生徒数減少により、新しい高校が開校を迎える頃には地域の状況に合致しない計画となるのではないか。新高校が何の憂いもなくスタートできるように、しっかり議論をすべきである。

この協議会で作った計画が、後に、「子どもたちのために良い学校を作ってくれたな、良い内容にしてくれたな」という評価につながるようなものとするために議論を尽くすべきである。

新しい学校の普通科を協議するにあたっては、三好地域全体の普通科をどうするかということを考えなければならない。また、少子化により池田高校普通科の学級数が少なくなると進学体制など様々な問題が起こる。

池田高校についても、新しい学科の設置など、何らかの活性化策を検討する必要がある。

### 4 事務局への要望

総合選択制度は分かりづらいので、両校が実施している総合選択制をもとにその内容を具体的に教えてほしい。

介護福祉士の資格取得には、どのような要件が必要となるのか教えてほしい。

現時点で、今後の三好地域の生徒数はどうなるのか教えてほしい。